

田中議員。

○12番（田中立一君）

そうですね。合わせてなんですけれども、19年度、294件で99%以上が44件、15%、それから100%が4件、20年度、237件で99%以上が26件、11%、100%が3件、これは新潟日報の報道で、過去2年間の入札の状況です。

過去5年ぐらいの間で99%以上で、落札された入札について、予定価格や落札価格などの金額や業者、そういったことについてのまとめた資料を私は見たいと思うんですけども、提出していただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

資料のほうは過去5年分はございますので、今議員がおっしゃった内容につきまして、また後ほど確認させてもらいながら、資料のほうを作成させていただければと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。

○12番（田中立一君）

私だけじゃなくて、もし希望する議員がおれば、皆さんにいかがかなと思います。どうぞよろしくをお願いします。

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。再開を4時といたします。

〈午後3時48分 休憩〉

〈午後4時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、古畑浩一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。〔17番 古畑浩一君登壇〕

○17番（古畑浩一君）

奴奈川クラブの古畑浩一でございます。一般質問3日目、しかも最後の最後ということで、皆さん大変お疲れのことと思いますが、最後にもう少しお付き合いのほどをよろしく願いいたしたい

と思います。

それでは、通告書に基づき、これより一般質問を行います。

1、官製談合防止法違反等事件について。

今回発生した官製談合事件は、担当職員が起訴され、市民に対して信頼を著しく失墜させるとともに、行政業務及び経済活動を停滞させる事態となりました。

また、過去においても頻繁に発生した不祥事のたびに「市政に対する信頼を損なってしまったことに、改めておわびを申し上げます。原因の究明に努め、同じ過ちを繰り返さないよう、職員一丸となって再発防止を図るとともに、信頼回復に全力で取り組んでまいります。」と同じ答弁を何度も繰り返してきました。

これは、取りも直さず米田市長の行政手腕と責任を問われるものであります。

事件の経過を明らかにするとともに、再発防止に努めることはもちろん、談合を容認してきたと思われる体質そのものを改革する必要があると考えます。

以下お伺いいたします。

- (1) 官製談合の経過と概要。不正が行われた背景について。
- (2) 「入札価格を知り得る人数」の虚偽の答弁について。
- (3) 原因の究明に努めるとありますが、過去に遡り調査を行うのか。
- (4) 過去5年間に入札率100%及び98%以上で落札された件数。
- (5) 公共工事の積算は、どのように行うのか。
- (6) 第三者委員会の設置について。人選と調査内容、その期間。
- (7) 起訴後の調査は、どのように行われるのか。また、裁判はいつ行われるのか。
- (8) 信頼回復と再発防止は、どのように行いますか。
- (9) 本件にかかわらず、倫理規定や不正防止マニュアルの徹底をどのように図りますか。

公務員の選挙との関わり合い方や公共性の高い第三セクター等にも指導を徹底するべきと考えますがいかがですか。

- (10) 糸魚川商工会議所会頭の引責辞任をどう捉えますか。
- (11) 行政としての管理監督責任をどうお考えか。

2、新型コロナウイルスへの対応と経済対策について。

令和2年初頭に発生しました新型コロナウイルスは、1年以上経過し、市民生活に多大な悪影響を与え続けております。

特に、サービス業を中心とした経済活動に与える影響は、深刻さを増し、営業の存続から命の存続まで脅かす、緊急事態となっております。

新型コロナウイルス感染拡大防止と経済対策、俗に言われるアクセルとブレーキについて、どのように対応されるのかお聞かせください。

- (1) コロナ禍における経済は、K字型と言われますが、市内の経済状況はどうなっておりますか。
- (2) コロナ禍における深刻な状況となっている職種や経営状況を、どのように把握していますか。
- (3) 県や国の警報継続と市や企業の自粛呼びかけなど、営業の自由を侵害しております。持続

化給付金など、継続して行うべきであると考えますがいかがですか。

(4) ワクチン接種計画と状況。高齢者の方々と同時に、人と接する機会の多い飲食店、宿泊業をはじめ、サービス業、小売業や窓口業務に関わる方々に対し、優先的にワクチン接種を行うことにより、経済活動を安全に行うことができると考えますが、いかがですか。

(5) 私营・公営にかかわらず新型コロナウイルス関連の各種補助金等は、公平に行うべきと考えますがいかがですか。また、指定管理者・第三セクターへの各補填金額と支払い理由を教えてください。

(6) 感染経路を明確にし、ピンポイントでの対応をすべきと考えますがいかがですか。

(7) マスク着用による熱中症対策をどう行いますか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

古畑議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、本市職員が新駅公衆トイレ整備工事の入札に関して、業者に対し工事価格を教示し、工事価格に近い1,900万円で落札させた官製談合防止法違反等の疑いで、5月19日に逮捕され、6月8日に起訴されたものであります。

2点目につきましては、本定例会初日にご説明したとおりであります。結果的に十分なお答えではなく、申し訳なく思っております。

3点目につきましては、第三者委員会と協議の上、調査範囲を定めてまいりたいと考えております。

4点目につきましては、令和2年度までの5年間の工事及び建設コンサルタントに係る制限付き一般競争入札の件数は1,689件で、そのうち落札率98%以上は702件で、そのうち100%の入札は19件であります。

5点目につきましては、公共工事の積算は県が定める単価表や物価資料のほか、単価表等にはないものは見積りを徴取し、積み上げた費用に、県で定められた諸経費を計上し、算定しております。

6点目につきましては、構成員は市外の方で、大学教授、弁護士、技術専門家、金融関係者の5人程度にお願いすることで、人選を進めております。

委員会は官製談合防止法違反事案に関しての調査、入札制度及び職員倫理の課題抽出、再発防止策の検討を目的としており、できれば年末までにある程度の方向性をまとめていただきたいと思います。

7点目につきましては、第三者委員会において事件発生に至った課題等を抽出し、再発防止を検討してまいります。

裁判の期日につきましては、起訴されてからおおむね1か月から2か月後に開かれるとお聞きしております。

8点目につきましては、第三者委員会の提言を受け、それを着実に実行していくことが信頼回復、再発防止につながると考えております。

9点目につきましては、これまで以上に確認徹底の機会を設ける必要があると考えておりますが、その方法につきましても、第三者委員会から提言を参考にさせていただきます。

公務員の選挙との関わり方、第三セクターにつきましても、合わせて周知徹底を図ってまいります。

10点目につきましては、コメントを差し控えさせていただきます。

11点目につきましては、事件の全容を確認した上で、管理監督責任を含め、対応してまいります。

2番目の1点目につきましては、当市の企業においても緊急事態宣言や県の警報の影響を受ける業種と、コロナ禍が追い風となって好調な業種が見受けられます。また、個人消費につきましては、自粛傾向が続いているものと感じております。

2点目につきましては、経済団体連絡協議会のアンケート調査をはじめ、支援機関や業界団体との会議などにより、情報収集と共有に努めております。

3点目につきましては、ワクチン接種率の向上とともに、市内の景気も徐々に回復しているものと考えており、それに合わせて元気応援券やプレミアム商品券を発行し、市内消費を喚起する計画であり、今後も状況に応じて検討してまいります。

4点目につきましては、ワクチン接種計画では65歳以上の皆様を優先し、次に基礎疾患を持つ方々等、国が示す優先順位に沿って進めてまいります。

5点目につきましては、指定管理者との協定におけるリスク分担に基づき、8施設に対し、約8,800万円を補填しております。

6点目につきましては、保健所において行動歴や接触者の状況を把握し、感染拡大防止に努めております。

7点目につきましては、小まめな水分補給など、必要な対策を安心メール等で定期的にお知らせをいたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それでは、2回目の質問に移らせていただきます。

順番を変えさせて、まずは新型コロナウイルスへの経済対策についてです。

1番、K字型と言われる市内の経済状況、これは本当にどのように捉えているのか、もう一度ちよっと詳しく教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市長がお答えいたしましたように、不要不急の外出の自粛等によりまして、人の流れが抑制され

ており、特に飲食業ですとか宿泊、観光業においては、大きな影響を受けているものと捉えております。

一方、巣籠もり生活の中などで、コロナ禍需要による売上げ増ですとか、製造業等、生産ラインの増強と雇用拡大の動きも見られております。

また、個人消費につきましては、それぞれの状況において異なりますが、おおむねまだ自粛傾向が続いているものと感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

まだやはりちょっと認識が浅いですね。これ最初にちょっとお聞かせいただきたいんですが、糸魚川市の感染レベルはステージ幾つなんですか。ステージ1とか2とか3とかありますよね。糸魚川はステージ幾つなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

糸魚川市においてステージ1だとか2だとか、そういう基準というのは正直持ち合わせておりませんが、糸魚川市の感染レベルを例えて説明させていただきますと、新潟県の感染状況、これは全国と比較しますと、人口10万人当たりの累計感染者数、これ151、全国で42位とかなり下のほうになっております。

さらに、当糸魚川保健所管内では、人口10万人当たり50人未満ということで、県内では佐渡に次いで糸魚川が少ない状況であるということでもあります。

また、当市におきましては、6月12日の20例目から10日間、新規感染者は発生しておらない。それらの総合的に考えますと、当市における感染レベルというのは、非常に低い状況であるというふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

糸魚川市のステージゼロ、いいですか、私たちはあまりにも全国的だとか、新潟県だとか、他市の状況にあおられすぎて、必要以上に恐れているんじゃないでしょうか。それらを基に、糸魚川としての経済対策や安全対策、指導ということを考えていくべきなんです。糸魚川モデルというようなね。いたずらにただ恐怖をあおって、人々が巣籠もり需要になるから、皆さん、不景気になっている。

さて、そこで大嶋課長ね、その中においては、まだ小売や製造業の皆さんまで大変な今不況に陥っているんですよ。もはや発生してから1年半が経過しようとしている。こんなもの、普通の店、営業、事業所もつわからないじゃないですか。その辺をどのように肌で感じていますか。

何回も言っていますけど、糸魚川商工会議所へ行ってアンケートを見てきましたみたいな答弁は許しませんよって、この間から言ってますよね。ちゃんと肌で、自分の足で歩いて、ちゃんと見てきたことを言ってください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

決して商工会議所等に任せて現場を見ていないということではありませんが、やはり一番情報を把握しているのは、中小の会員企業をケアをできる商工会議所、商工会の指導員であるというふうに考えております。

市といたしましても、様々な会合ですとか、個別の聞き取りと、あと個人的な外出等も含めまして、状況の把握に努めているところでありまして、昨年の状況ですと、全て怖がって出歩かないという状況であったように思っておりますが、最近は安全対策に考慮した中で、少人数で外出されている方も増えてきているのではないかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

市内の飲食店では、閉店、休業、倒産、大変増えております。それらの実態についてはご存じですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ハローワークのデータ、情報によりますと、現在のところ新型コロナウイルスの感染症に影響が出ているものの、それほど大きなものではないというコメントではありますが、やはりこのコロナの不景気といいますか、コロナの影響によりまして、市内でも体力が弱かったところについては、徐々に影響が出てきているものというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

今度はハローワークですか。もっと自分の足で歩きなさいよ、夜の町でも昼の町でも。いいですか。こういう夜の町やスナックの皆さん、働いている、もう事業者も、そこに働いている従業員、本当にきついんですよ。

さらに、接待を伴う営業は駄目、カラオケ駄目、ライブ駄目、パーティー駄目、宴会駄目、先ほど言った一人二人の皆さんが動くだけじゃ、糸魚川、今まで大きな宴会会場として支えてきたホテルや旅館や宴会場なんか、みんな真っ青になっているじゃないですか。そういう声を聞きましたか

と聞いておる。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

旅館業の関係の団体でありますとか、飲食関係の団体の方とのヒアリングといたしますか、懇談の中におきましても、そういう声が聞こえてきておりますし、あとコロナに関するアンケートについても、様々なコメントが寄せられているところでありまして、それらを考えますと、これまで様々な経済対策を取ってきておられますが、引き続き状況について注視していく必要があるというふうに思っておりますし、国・県・市、含めて適切な経済対策が今後とも必要なのかなというふうに感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

その件に関しましては、市長、大変感謝申し上げます。年度末、本当に手厚く様々な補助事業、事業継続資金等出していただいて、本当にあれで皆さん、一息ついたと喜んでいます。

ただ、焼け石に水でした。本当に一息でした。その後もゴールデンウィーク等が全て自粛、もちろん成人式も結婚式もみんな中止になってしまうなら。

これだから、基本的にはこうなってくれば、持続化給付金を継続する必要があるんですよ。なぜか。重大宣言や自粛要請をされると何が起こるかという、営業権の侵害に当たるんですよ。平たく言えば、営業妨害なんです。それをやられている限り、自由な営業活動、経営活動ができないんですよ。

基本的に憲法違反を犯しているわけだから、そういったことに関しては、このような持続化給付金や時短協力金など、これは払う義務があるんですよ。だから、払っている。

皆さん、何で飲食店ばかりに金払っているのかとよく言われますけど、営業権を侵害しているからなんです。したがって、これは継続してこうした持続化、直接給付に当たるようなものを私は出すべきだと思いますけど、そのようなお考え、ありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

昨年、国の持続化給付金が出てまいりました。その間、給付に時間がかかるということで、市としても事業継続給付金ということで、素早く支出をしまして、何とか事業を継続してもらえるようにということで努めてきております。

その後につきましても、間接的ではありますが、元気応援券ですとか、プレミアム商品券等、また先ほど今議員も言われました年度末での飲食事業の給付金と宿泊事業の給付金ということで、切れ目ない支援策に努めているところであります。

今後とも状況に応じてではありますが、さらなる支援が必要になってくる場合には、また検討する必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

一つの考え方ですが、アクセルとブレーキを言うなら、ブレーキ離せばいいんですよ。先ほど言っているように、もう糸魚川はステージゼロ、閉鎖的経済圏を努めていけば、市外、県外に対する警戒心だけを高めておけば、市内の中の経済活動はある程度自由でも十分なんではないですか。

大手セメント会社等の皆さんが様々な理由で自粛に入られ、今回の不祥事を受けて、市役所、建設業界が自粛に入った。そうなってきたら、経済なんか回るわけじゃないじゃないですか。

だから、何らかの形で市民に安心なセーフティーネット、セーフティー宣言をしないと、これから元気応援券やっただけできますよね。でも、それだって怖くて出るわけじゃないじゃないですか。そういったことにおける、いわゆるアクセルを踏めとは言わないけれど、ブレーキを緩めるという考え方はございませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在、市内の宿泊施設に宿泊キャンペーンを行っております。これも去年の段階ですと、コロナの感染者が出てきた段階では、恐らく中止にしていたと思っておりますが、現在は市民限定で継続しております。

このようなことで、まるっきりストップをかけるのではなくて、ある程度、動きも見せながら、今、変異株ということでもいろいろ、いつ拡大するか分からない状況ではありますが、その中でも動きを見せることによって、市民の皆さんからまた動いていただきたいということも考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

そこで、どうですか、ワクチンの優先順位を接客業、サービス業をやられている方々、もちろんスーパーのレジをやってらっしゃる方々、こういった方々にも優先して打つという考え方はないですか。それにより安心感を与えて、経済状況を回転させるという考え方はございませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺成剛君登壇〕

○市民部長（渡辺成剛君）

お答えします。

考え方としては、経済活動というものもあると思うんですけども、今、国が示す優先順位は、医療



崩壊を防ごうと、こういうスタンスで今進めております。

ただ、市は今、国が示す接種順位についてやっていきますけども、今新しい考え方で、職域接種という形が出てきております。糸魚川市内の企業では、先日もご紹介したデンカさん以外にも、笠原建設さんが参加されます。また、県全体ということでは、新潟県社交飲食業生活衛生同業組合や、新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合の皆さんも職域接種を進められるということで、それぞれの企業、それぞれの団体が今一生懸命やってらっしゃると思います。

これを進めると同時に、県がまだ新しい接種機会を拡充しようとしておりますので、ぜひその中で、古畑議員がおっしゃられるような業種も、糸魚川市民でそこで接種できるようなことを県に要望して、接種機会の拡充に努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

やはり行政辺りが音頭を取ってくれなければ、そういう団体、団体といってもやっぱり小さいんですよ。1,000人も集めることなんか無理だ。けど、そういったそれも一つの固まりとして認めてくれますよ、各組合員さん、どうぞ連絡取り合って、そのご家族も従業員もみんないいですよって話なら違うさ。やはりある程度行政が音頭を取ってあげなきゃ駄目ですよ。

それは大嶋課長さん、いつも本当に、あなたにはいつも私、感謝してますので、ちょっときつめに言って悪いなと思っていますけど、よくやってくれてますので、課長さんからまたそういった皆さんにも声をかけていただきたいと思います。信頼ありますから、皆さんついてきてくれると思います。よろしくお願いします。

さて、そこで、これは続きまして、指定管理や第三セクターの各種補填金額、言ってみれば権現荘の話ですが、昨年の今頃、権現荘に対してリスク分担だとか言って、3,600何十万でしたかね。払いましたよね。今年は何で払わないんですか。もう黒字になったということでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

権現荘はもともと指定管理料を持たない、委託料を持たない指定管理になっておりますので、今年度当初の予算の中では、予算を持っておりません。

また、今後の感染状況ですとか、そういったものの進み方によっては、また検討する場合もあるということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

ちょっと待ってくださいよ。もともと、じゃあ、何で去年、出したんですか。じゃあ、もともと

そうで、だから、今年は出さないと言うなら、じゃあ、去年はなぜ出したんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

去年は4月、5月を市の指示により休業したこと、また、コロナウイルスの影響で売上げが減少していることによる影響が損失として大きくなっているということから、指定管理協定書の中のリスク分担表にある不可抗力に該当するものとして、助成をさせていただいているものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

休業要請に対する補填ということなんですかね。それが3,600何十万もするの。そこをやっていると時間がなくなりますから、次に行きましょう。

コロナが災害という考え方から見ていって、それでいきますと、被害者ってのはたくさんいらっしゃいます。市の直営施設や第三セクターだけではなくて、市民全般ひとしく災害対策ということでは、救ってやっていただきたいと思います。

それから、マスク着用による熱中症対策、コロナの入る前と、コロナの入った後では、熱中症の件数というのは、何か変化あるもんですか、消防長。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えします。

患者数そのものというよりは、私ども消防での救急搬送に関する件数という面でいいますと、去年は、令和2年度は、6月から9月にかけて、約23件ほどの熱中症の疑いの搬送がございました。今年につきましては、令和3年度に入ってから、まだ1件もないという状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

比較する年度、間違えてないかい。去年と今年比べちゃ駄目だろ。去年と一昨年比べなきゃならない。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

申し訳ありません。一昨年の件数については、ちょっと手元に数字を持っておりませんので、お答えできません。申し訳ありません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

一応、通告書には書いたつもりでしたけどね。

市長、暑い中、やっぱり高齢者の皆さんがマスクして歩くっていう。おじいちゃん、おばあちゃんもう暑いし、マスクなんかしていると熱中症になるから外せと言ったって、人目気になって外せんとするんです。これを外させるためには、やはり市のほうから、よくよく考えてください、レベルゼロですよ。人が誰も歩いていないような道で、誰にコロナうつるか、うつされるかというよりも、熱中症にかかるかかからないかのほうが大事でしょう。

コロナと熱中症って症状が似てますよ。だから、そういった意味で健康増進課長、市民部長、市民の皆さんには正しく恐れるということをやってもらえませんか。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今ほどありました熱中症を防ぐために、新しい生活様式、これは厚生労働省からも出ております。今、古畑議員がお話がありましたように、適切な距離を取っておれば、暑いときはマスクを外してくださいということ厚生労働省のほうでは説明をしておりますし、また、暑さを避けたり、小まめに水分を取ったりと、こういうことがコロナ禍における熱中症を防ぐために重要なことでもありますので、こういうことについても市民に対して周知啓発に努めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

この件はこれでやめますけど、糸魚川市は、やはりコロナを恐れるというより、人目を恐れる、こういう風潮が強いんですよ。実質的に感染する確率が低くても、ほら出た、やれ出たということで、それにしてみたって、糸魚川由来でもなければ、飲食店由来でもない。いいですか。ただそこで出たというだけで、その日に入っていた予約や宴会が全部キャンセルになる。そういう気持ちも分かってやっていただきたい。

正しく恐れるやり方とはどうなのか。前にも強く要求していたけど、感染経路をはっきりさせることですよ。青海で出たのか、糸魚川で出たのか、能生で出たのか、災害のときの緊急避難命令は、地区指定してやるでしょう。あれと同じですよ。全部に避難勧告出したら、全員、どこへ逃げるんだって話になる。あれと同じなんです。だから、感染経路については、しっかりと糸魚川モデルで

やっていただきたい。

言っとくけど、糸魚川市は県の下請ではないので、県の保健所に何言われようが、行政に何を言われようが、糸魚川市民を守るのが糸魚川市の役目だから、それは自分たちの中の解釈でやったっていいんだからね、確かに保健所は県の管轄であるけど。そこはしっかり糸魚川モデルというものを考えてやっていただきたい。

次、官製談合行きます。

さて、この官製談合、もう私で今回11人目ですか。緊急質問から数えていくと、相当数の数が、議員の皆さんがこの件、質問されていますね。もう聞くことないかなとは思いますが、聞かせていただきますよ。

さて、私がこだわる最大のなぞは、なぜ警察が一番最初のところで捜査情報を教えたのかなんです。庁舎のトイレ等の工事のときですよ。警察から電話来ました。部長が取られた。これ警察はどなたですか。名前はいいですから、役職。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

1月の入札を中止した件の情報元については、新潟県警のほうから、警察からという部分については、公にしていいということで、今回の逮捕、起訴を受け、この事件の中でそういうふうなお話をいただいています。

ただし、それ以上については、駄目だということで、新潟県警という部分にとどめておいてくれという要請がありますので、答弁はちょっと控えさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

そうはいかんですよ。糸魚川で起こった、しかも最初の糸魚川の官製談合の発覚する、その直前の情報ですよ。警察は何だって言ってきたんですか。おたくの職員、官製談合やってますよっていう電話なんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

警察のほうから、本庁舎トイレの電気設備改修工事に関して、不正が行われるおそれがあるということで、私のほうへ連絡がありましたので、その後、入札を延期し、最終的には中止したというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

ここが前にも申し上げた最大のなぞ。警察は事件が起こらない限りできませんとか、事件が起こらないと動きませんと言っているんですよね、いつもね。私も長い経験で、刑事事件や民事裁判所や警察ともいろいろ一緒になったこともありますけど、必ずそう言いますよ。これが何とも不思議です。

押上駅のトイレの入札、こちらのほうが本庁舎のトイレの入札より先だったんですよね。そのときには、警察はもう官製談合が行われているというのは、もうつかんでいたんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

警察の動きなので、市のほうとしては、どのような形で情報をつかんでいたという部分については、警察の動きということで、私どもは承知をしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

この官製談合のうわさが出たのは、今年の前年ではなくて、去年の話ですよね。暮れぐらいのほうからうわさになってきたと、私は思うんですけどね。これなぜそのときにしかし、押上のトイレのほう、駅のトイレのほうの話が確定しているんなら、逮捕しなかったんでしょうか。

それで、糸魚川のうわさスズメがやたらうわさにするのは、市長選挙との絡みですよ。市長選挙については、30日ルールというのがあって、告示の30日前の案件については、事件、要するに逮捕等はしないというルールがある。だから、1月の本庁舎のトイレの工事のときには、たとえ確信があったとしても、上げられない。事件にできない。だけど、押上のほうの駅のトイレの話なら、去年の暮れの話だから、30日より向こうなんです。30日じゃない、90日でしたっけ、60日でしたっけ。何か3か月前ルールというのか、あると。そういうふうな話の情報がある。この件についてはご存じでしたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

私としては、そういうルールがあるということ自体、今、議員のほうから初めて聞いておるような状態でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

いずれ警察の方とお話できる機会でもあれば、聞いてみたいですね。多分、県警のどなたか分か

りませんが、ぜひお会いしたいと言っておいてください。

次、入札人数を、価格を知り得る人数の虚偽答弁について。

これは虚偽を行ったんですか、それとも勘違いだったんですか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

25日の日に古畑議員のほうからいただいた質問に対して私のほうでお答えをさせていただきました。私のほうの理解のほうが足りなかったのかなとは思っておるんですが、そのときにつきましては、あくまで意思決定を行う過程で知り得た人数ということで、13から16ということでお答えをさせていただきました。隠すとか、だますとか、欺くとかという、そういった意図のほうは全くございませんでした。申し訳ございませんでした。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

だますつもりもない、山口さんに限ってうそもつく必要もないと思う。だけど、やっぱり総務部長、それに気づいてないということ自体が事件なんだ。おかしいよね。

総務部長はご存じでしたか。それとも副市長、ご存じでしたか。もしくは担当課のほうは、「すみません、うちの課、全部見れることになっていたんですけど」って言わなかったんですか。あくまでも新潟日報社から言われるまで、誰も気づかなかったんですか。お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

私もその前に開かれた記者会見があったんですけども、記者のほうから、そのような質問を私、受けました。それで、お話ししたのは、決裁ルートで知り得る人数ということで、先ほどの前段の財政課長がお答えしたのと同じような、決裁ルートで知り得るのは何人ですよというようなお答えはさせていただきました。ですから、私の頭の中には、その部分はありましたけども、電算システムで見れる状況がそのような状況になっているということについては、少なくとも財政課長がこの場で答弁申し上げた時点では、全然ちょっと失念というか、認識をしておらないという状況でございました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

電算システムで見れるということを知りませんでした。毎回入札が終わるたびに、私どもの担当職員が財政課のほうに行きまして、その辺の数字を聞いて入手してくるということが続けておりまして、見れる状態ということを知らせていただいたという状況です。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

お聞きになったように、それが一番の問題です。分かりますか。皆さんはちゃんとやっていたつもりが、上手の手から水がしっかり漏れてたということなんだ。コンプライアンスにしる、秘密基地にしる、やっているつもりだったということなんだい。その象徴的なのが、今回のこのシステムを誰でも見ることができる、課の人間ならね。これはやはり大いに反省すべきだし、市長は自ら最初に陳謝もしていただきましたけど、これは恥ずべきことですよ。

この辺については、統括の長というのは誰になる、副市長になるんですか。市長ですか。この辺の見解についてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

お答えいたします。

私自身も財務会計のシステムにそういう画面があるというのは知りませんでした。やはり議員おっしゃられるように、職員のコンプライアンスというのを信用する中で、業務のしやすいようなシステムをつくってきたというのが、やはり最大の原因でないかなと思っております。

ただ、多くの人間が見られるというのは、それだけ危険性が増すということですので、指摘あった後すぐ、システム的に最低限必要な人数に絞ったわけですけれども、今後もさらにそこら辺、ほかにもこういうものがあるかもしれませんので、そういったところを調べて、なるべくそういういわゆる危険性を少しでも少なくする、そういう努力はしてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

今後、デジタルが進んでいけばいくほど、安全セキュリティーが高くなったという安心じゃなくて過信が生まれます。したがって、こういうことが起きる。

総務部長、私、この記事があったとき、すぐあなたのところへ行きましたよね。そのとき、あなた、私に何と言いました。ちょっと再現してみてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

正確には少し覚えておりませんので、趣旨としては、やはりシステムとしては、ある程度、効率化とセキュリティーと、その中でやってきたんだという部分をお話したというふうに記憶しております。正確な言葉は、どういうことかという部分はちょっと覚えてませんが、そんな趣旨な話をしたというような記憶をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

私、気分悪くして帰りましたよね。今の説明で、私、気分悪くなるわけない。これだけどういんだい。あれは予定価格であって、システムで見られるのは、何て言いました、工事費なんだというような言い方でしたよね。「両方とも一緒なんですけどね」って言って、あなた笑ったんだ。「おかしくないか」って言ったら、「別に、でも91%から100%の間に、とにかく入札が正常に行われている以上、私は問題ないと思いますんでね」と言われた。「分かったわ、じゃあ帰る。議場で話ししましょう」って言った。

だから、その考え方自体が、全体のこのぬるさを生んでいるんじゃないですか、総務部長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

一連の今回の電算システムの関連で、いろいろな方からご指摘を受けております。そういう意味では、議員おっしゃるとおり、私の電算システムのセキュリティーに関する認識が甘かったという部分は、そのとおりでと思っております。ですから、先ほど副市長が申し上げたように、当然、電算システムはある一定の人間、複数の人間が使わざるを得ない、そうしないと業務が進まない点もありますけども、そうは言っても必要最小限の人が使うようなシステムというものに今後チェックしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

多くの方が今回この問題を取り入れているんで、なるべくかぶらないようにと思うんですけど、皆さん、官製談合は気づきませんでしたかと言ったら、副市長、市長以下皆さん全部気づかなかった、分からなかったと言ってましたね。そういう存在にすら気づいてないと、警戒もしてないと言っていました。

じゃあ、談合についてはどうですか。業者間の談合は。談合は過去には行われてきたということを知っていますか。副市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕



○議長（松尾徹郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

私はそういうものはなかったと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

総務部長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

業者の談合があるというふうな思いはありません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

斉藤産業部長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤産業部長。〔産業部長 斉藤喜代志君登壇〕

○産業部長（斉藤喜代志君）

そういったものはないというふうに感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

私、31歳で市会議員になったとき、そういうことはあるものだということを承知でやってきました。そうじゃなければ谷筋、川筋、港ごと、何であんなにきれいに建設会社、土建会社が分かれているんですか。その仕組みを教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

現在の入札制度におきましては、制限付き一般競争入札ということで、地域ではなく、市内に本店等という形で、糸魚川市全域に広げた形で入札をしていただいております。また、札入れにつきましても、各業者さんの判断になるかと思っておりますので、そういった形で分けて発注というのは、今

のところやっておりますので、そういった形できれいに分かれるというのは、ちょっと私のほうでは分かりかねます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

本当にあなた最後、歯切れ悪いですね。もっとちゃんとしゃべってくださいね。あるものをないというのは、ある意味、しょうがないかなと思っていますよ。水清くして魚住まずと言いますしね。この上、建設業界で何かあったら、糸魚川の経済、潰れてしまいます。私もそんなことは言わない。

ただ、本当にそういう談合の業者間の関係はなかったのか。その延長線が今回の官製談合じゃないですか。そして、それが頻繁に行われることによって、入札率が100%、99%が70も超えるという異常事態になっているんじゃないんですかって聞いている。ないないで済ませればいい、証拠がないんだからとぼければいい、そうじゃない。

じゃあ、どうすればこの疑いと信頼を取り戻すことができるんですか、市長。みんなが、「あるね、氷山の一角だね、まだ出るよ」って言ってる。でも、それがなくて言わんならん。官製談合は私、気づきませんでした。業者の談合も私たちは気づいてませんで、それで通らないんですよ、こんな狭い町。市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

私も出身は建設業でございます。私は市議員になったときから、業務から離れ、兼業の禁止というのを十分知っているわけでございますので、そういう形で私はこの事業に対しては離れてきたわけでありまして、私がやっていたのは40年近く前でございます。そのときは非常に災害復旧が多くて、どちらかと言うと本当に仕事を取ってもらわなくては困るという時代であって、毎年度、仕事を年度初めには、建設課から課長が来て、今年はどういう事業が出るから、皆さん、仕事を受け取ってくださいよと、不調にしないでくれというような要望が来ておるような時代であります。その時代と私は一切離れてきたわけございまして、最近はやはりいろいろデータや帳簿を持っておる中での入札が行われていたと捉えているわけございまして、私もやはり談合はなかったと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

さて、今回はみんなが共通のソフトを使うんだから、全員が入札価格に対して100%の数字を出すことに何の違和感もないというご説明でしたよね。

そこで質問なんです、談合のルールというのは、100%により近いところの勝ちなんです。クイズみたいに、教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

何と申し上げればいいかなんですが、談合の勝ちと言われましても、どこに価値を見いだすのかがちょっと私にはお答えできません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

申し訳ありませんでした。入札の勝ち、要するに入札を取るには、ルールとしては100%に近いところを取るのかと聞いているんです。入札の最も基本的なところを教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

予定価格から最低制限価格ということで、入札の幅があるんですが、その中において、競争原理が働いて、一番低い方が落札されるということになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それでは、99%、100%で入札するには、ほかの業者の協力が要ということになりませんか。それをもって談合されているんじゃないのかしらと思うわけですよ。

今回のトイレ、1,900万円、誰が見ても高いと思う。けど、応札したもう1者は、それより高い価格で出しているんでしょう。大体もとよりも何で押上駅のトイレに1,900万とか、2,000万の金額になるんだね。もう一回、ちょっと説明してください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

先日、東野市会議員のときにもお答えいたしましたが、まず、建築物としてトイレが高いという、面積当たり高いという特徴がございます。それ以外にも、私どもの公共工事として指針になっているのが、公共工事の品質確保に関する法律、品確法に基づいて国・県がつくった積算基準に基づいておる。その品確法の基本理念としては、業者の担い手の中長期的な育成とか、災害対応を含む地

域維持の担い手の確保というところがその理念にあって、その下にある積算の考え方に基づいているので、諸経費において民間工事と大分差があって高いというふうな説明をさせていただいたところでございます。そこは今でも同じでございます。

○議長（松尾徹郎君）

質問の途中ですが、あらかじめお諮りいたします。

このままですと質問時間が午後5時を過ぎることが予想されますことから、本日の会議時間を延長したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、会議時間を延長することに決しました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

ただね、五十嵐課長、相手は16.7平米、平家1階で、坪数に直して5坪、説明会のときにもお聞かせいただいて、坪単価が370万円ですか。坪単価370万円、5坪のトイレって、あまりにも市民感覚から離れてませんか。

市長、私は前回、あなたに敗れて、4年間、行政議会を離れました。そして、市民の皆さんと一緒に汗かいていると、いかに行政議会と庶民、市民の皆さんの感覚が違うかが分かります。坪単価370万円のトイレ、それが正しいと思っておるんですか。市長、いかがですか、決算出したんですよね。判こ押したんですか、そんなものに。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤喜代志君登壇〕

○産業部長（齊藤喜代志君）

お答えします。

積算においては、先ほどから五十嵐課長が説明しているとおりでございます。国・県の基準にのっとり、図面から数量をはじいて、そこから単価を掛けて、全体の設計額を出すと、それに定められた諸経費を上げるといったことで、公共の工事としての積算については、ルールどおり進めているということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

1,900万で落とした建設会社というよりも、1,900万以上かかるトイレを5坪のところで積算出してきた私、行政のやり方がおかしいと言っている。あなた、自分の家、建てること考えて、前提にしてやってくれって、昔、よく私、言っていましたよね。

それでJRの新幹線駅も15億を45億って言ってきたときだって、議会は認めなかった。日立だってそうですよ。修理費だって20億、30億よこせというのは払わなかった。様々なところで適正価格ってあるとは私も思う。けど、法外の値段は駄目ですよ。

これは昨日新保議員が、もしも5%安かったらということで出していただいた資料だ。今日、私に使ってくれと言ってもらいました。いいですか。もしも適正な価格で入札が行われていたとしたら、20億、30億が浮いた計算になるんですよ、10年間で。そんだけの金額があれば、何ができるんですか。いろんなことができるじゃないですか。

強いて言えば、談合というものは、市民の財産、財布からくすね取る行為じゃないですか。それをあなた方、幫助しているのかい。私はそれを聞いている。

今回は建設でよかったですね、1者だけですので。もしもこれが公正取引委員会だったら、公取法だったら、みんな応札したところまでやられますよ。事業所間のお金も返せって話になっているかもしれない。

だから、今回のことはあるものをないないと言って済ますと思うと、私は最終的につつまが合ってこないはずだ。だから思う。

それから、言っておきますけど、市長、市民の皆さん、本当に怒っていますよ。どうやって信頼回復するつもりですか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

まずは真相を究明し、そして、それに対してしっかり対応していくこのシステムを構築して、信頼を回復をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

今回当選された新人の議員の皆さんに、そのお答えで十分だと思う。けども、私たちベテランには無理でしょう。

ちょっと、総務課長、お聞きしますが、過去、市長に対して出された問責決議や減俸処分、回数と内容について少し解説してください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

まず、問責決議につきましては、過去3回あると思っております。それから、市長の減給処分につきましてですが、過去に6回行われておりまして、多少細かくなりますが、平成20年度におきま

して、清掃センターごみ処理での不適切な処理の管理監督責任で、100分の30%を1か月、平成21年度には、一般廃棄物最終処分場問題の管理監督責任で100分の20の3か月、平成24年度には、やまのい保育園工事一連の管理監督責任で100分の20を1か月、平成26年度においては、職員の公然わいせつ、給食センター会計不正処理等における管理監督責任で100分の40、1か月、平成26年度におきましては、学校給食会計不正経理の政治的責任ということで100分の10、1か月、6番目が、平成28年度におきまして、権現荘問題の政治的責任ということで100分の20、1か月の減給処分が行われております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

いいですか。今回は5期目のスタート、ご自身の所信表明するよりも先に陳謝から始まった、不祥事から始まった。市長、それぞれ当選すればみそぎ選挙で、過去のあなたは実績と言うけど、過去のこうした不祥事まで全部ついてくるんですよ、加算されてくる。サッカーでいえばもはやイエローカード5枚以上だ。レッドカードですよ。これがコンプライアンス、組織的統治効果があるか、それを統制能力があるかということ、ずっと過去の議会でも問われてきた。いいですか。

総務課長、不祥事防止のための行動指針7ページ、管理監督者の心構え、ちょっと時間なくなつたんで、あなた、読んでください。上のとこだけで。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

「管理監督者の心構え」ということで、「1点目に、不祥事に対する危機意識を常に持つ」というふうに書いてございます。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後5時03分 休憩〉

〈午後5時03分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

失礼をいたしました。

管理監督者の心構えということで、「管理監督者の仕事には、業務管理、予算管理、人事管理のほかに危機管理があります。危機管理の基本は、身の回りで起こっていること気づくことができるかという点にあります。この気づくことができるかどうかの違いは、問題意識があるかないかの違いであり、常日頃から起こる可能性のある不祥事を想定し、危機意識を持つことによって、不祥事の兆候に気づくことができるようになります。自らの職場で想定される不祥事について、問題意識を持ち、それらを防止するための対策を講じ、形骸化しないように継続していくことが、不祥事の防止につながります。不祥事防止の鍵は、職場を管理し、部下の意識を左右する管理監督者が握っています。」

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

過去の教訓において、これすら、こちらにある職員倫理、規範、これを見直してつくったのがこっちだ。この2つの倫理規定の中にも歴史がある。それぞれ見直す。いいですか。気づかぬことは罪ですよ、皆さん。談合なんかなかったとか、100%なんか当たり前だなんて、どの口が言うんですか。

市長、もう時間ないですが、これらを全て解明する。いや認めることで、このあしき慣習はただすべきじゃないですか。そうしない限り、市民の信頼も返ってこないと私は思います。市長、どうですか、もう一度。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

先ほどお答えいたしましたように、やはりその真相の究明をしっかりと、それに対して管理監督をしっかりと、信用を取っていきたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

私に関しては、そりゃ、同じせりふ11回目です。やはりこれからしっかりとやっていきたい。

その代わりちょっと嫌な話します。田中議員、聞くかと思ったら、聞かないでとめたみたいですが、シャルマンスキー場の社長、織田さんのセクハラ、パワハラ、これについては調査したんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

そちらのほうにつきましては、一部報道があったことから、私のほうで直接、社長及び事務職員等に個別で面談をさせていただいておりますが、記事にありますような、怒鳴られたとか、精神的に病んだとか、そういうお話については一切ありませんでした。それで、市長答弁が、そのような事実は確認できなかったということになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それも報道にあったことだから、やっぱり正式に報告すべきですね。

それから、もう一つ、ちょっと嫌な投書が来てますけど、藤田副市長、あなた、今回の選挙、投票直前に市の職員に対して、米田市長に投票するように依頼したことございますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

お答えいたします。

一部の職員に対して、「頼むね」という声掛けをしました。ただ、副市長として圧力をかけたとか、命令したとか、そういうことではなくて、日頃から心置きなく話せる職員に対して、個人的にお願いしたものであります。

ただ、個人それぞれ受け止め方というのは違うこともあろうかと思っておりますので、今後につきましては、誤解を招くような行動については慎むべきと反省しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

副市長、軽い気持ちであっても、完全な選挙違反です。この話はまた、いずれ違うところで。

以上で質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、古畑議員の質問が終わりました。

これをもって一般質問を終結いたします。

以上で、本日の全日程が終了いたしました。

本日はこれにて散会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後5時08分 散会〉